




研究者名※	細川幸一	学位※	博士(法学)
所属※	家政学部 被服学科	職名※	教授
連絡先	consumer_jwu@yahoo.co.jp		
URL	http://www.ac.cyberhome.ne.jp/~consumer/		
researchmap※	https://researchmap.jp/read0119792		
研究分野※	消費者法 企業倫理・CSR 消費者教育 エシカル消費		
研究キーワード※	消費者法 法学教育 企業の社会的責任		
共同研究・競争的資金等の研究課題	科研基盤研究(B)「国連グローバル・コンパクトの課題-東アジアにおける実践的意義を中心に」		
社会貢献・産学官連携活動等	文部科学省教科用図書検定調査審議会臨時委員、経済産業省新たな製品安全行政体系研究会委員、金融庁アジアの資本市場育成と消費者保護制度に関する研究会委員、消費者庁消費者教育推進会議委員、サービス産業生産性協議会CSフォーラム推進委員会委員、埼玉県消費生活審議会会長代行、東京都消費生活対策審議会委員、法政大学現代法研究所国連グローバルコンパクト研究センター客員研究員、麗澤大学企業倫理研究センター客員研究員、日本消費者教育学会関東支部長、PL研究会法律体系研究部会長、日本エシカル推進協議会理事等。		
受賞歴	令和3年度消費者支援功労者表彰内閣総理大臣表彰受賞		

研究領域	エシカル消費	
研究テーマ※	いのちを消費する者の責任	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>消費者が安い食肉を求めるなかで、生産者がコストを引き下げるために畜産、食肉加工の工業化が進み、設備費や人件費を極限まで減らし、効率最優先で生産を行っている。コスト削減のための効率が生き物を扱う畜産でも追求されており、多くの家畜は大量生産のための「畜産工場」とも言える閉所で飼育されているのが実態である。家畜は単なる産業動物（経済動物）として扱われ、動物らしい行動を抑制されて苦痛に満ち、かつ短い一生を送ることになります。</p> <p>消費者の権利に加え、消費者の責任が議論されている。豊かで便利な社会の裏側で犠牲になっているものに我々消費者は無関心すぎる。</p> <p>いのちを消費する者の責任として、こうした実態を見つめ、自らの消費行動を検証することもエシカル消費を考える上で重要な地位を占めるものであり、そのための情報提要、消費者啓発・教育についての研究を行っている。</p>	
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・『『倫理的消費(エシカル消費)』概念に関する考察』日本女子大学大学院家政学専攻研究『樹下道』9号(2017年3月) Koshitamichi No.9 Hosokawa.pdf(arcj.org) ・いのちを消費する者の責任を考える(消費者庁「倫理的消費」調査研究会第7回(平成28年6月3日)資料) 160603_4.pdf(caa.go.jp) 	
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	

